

公開情報資料

整理番号	2018.06-2	
研究課題名	Tuberosity-overlapping fixation of the humeral shaft in humeral head replacement surgery	
研究期間	2004年4月1日～2016年3月31日	
研究目的	<p>肩人工骨頭挿入術は、上腕骨近位端粉碎骨折に対して選択されることがある。その術式においては、大小結節および骨幹部との間で骨癒合を得ることが良い臨床成績につながるということが知られている。我々は結節間で骨癒合を得るために様々な工夫を用いて手術を行ってきた。今回の研究で臨床成績・骨癒合率に着目して検討することを目的とする。</p>	
研究方法	研究対象範囲	当院で2004年4月1日～2016年3月31日に上腕骨近位端骨折に対して人工骨頭挿入術を施行した症例
	利用する情報等	年齢、性別、術前骨折型、受傷～手術までの期間、臨床成績 (constart score)、骨癒合率、合併症、術後経過観察期間
	利用方法	カルテ記載から収集する。
	他機関への提供	上記データをエクセルへ入力し、メールにて送付する。
研究責任者	岡山赤十字病院 整形外科 小西池 泰三	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	